



平成29年度の実績に係る 組織評価ヒアリング

小白川キャンパス

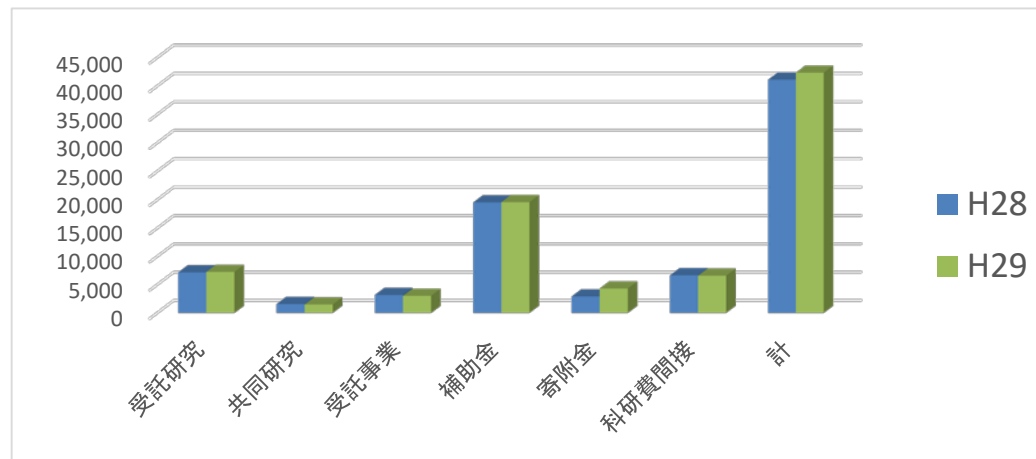
小白川キャンパス長 玉手英利

年度目標1 外部資金目標値

年度目標1 外部資金獲得額を第2期中期目標期間平均値の10%増とし、学内外の各種組織との連携により、小白川キャンパスの多様な教育・研究のリソースを活用した自己収入の増加を目指す。

達成状況① 外部資金額は目標値を3ポイント上回り、前年度比で1,238万円増となった。クラウドファンディングやネーミングライツなど、外部資金源の多様化を進めた。

自己評価 4



年度目標1 外部資金：多様な財源の確保

達成状況① 維持管理費をネーミングライツで確保



年度目標1 外部資金：多様な財源の確保

達成状況② 外部資金による社会連携事業

山形大学発！サイエンスショーで被災地の子どもたちへ笑顔を！



手作りサイエンスショーと科学実験を開催して、
子どもたちに驚きと感動の体験を通じた笑顔を届けたい！

—やまがた科学の花咲くプロジェクト—



栗山 恭直

寄附総額 621,000円

 目標金額 450,000円

寄附者数 67人

残り日数 終了しました

寄附型

All or Nothing

プロジェクトが成立しました！

このプロジェクトは
2017年9月22日(金)23:00 に成立しました。

自己評価 3

年度目標2 キャンパス経営基本計画の策定と実施

年度目標① キャンパス経営基本計画を策定し、29～31年度までのリソースマネジメントを段階的に実施するための具体的工程を提示する。

達成状況① キャンパス長によるマネジメントを推進

自己評価 3

- ・勤怠管理システムの利用を義務付け
- ・教員活動評価基準をキャンパスで設定
- ・学部単位のスぺース管理を、キャンパスのスぺースマネジメントに変更
- ・キャンパスで必要な人員（保健管理センター、基盤共通教育）を、キャンパス長の調整により、学部管理の人事ポイントで充当

年度目標2 キャンパス経営基本計画の策定と実施

年度目標② キャンパスレベルの戦略的取組をキャンパス運営経費で重点的支援

達成状況② キャンパス運営経費による重点的支援36件

自己評価 3

- ・教育開発支援センターの全国共同利用拠点整備
- ・キャンパス共同利用実験設備を設置（遺伝子実験設備）
- ・アジア太平洋国際教育会議
- ・キャンパスの統一サインシステムを整備
- ・小白川キャンパスのポータルサイトを設置
- ・学生交流スペースの整備

達成状況 キャンパス単位のリソースマネジメント



達成状況 学生交流スペースの整備



年度目標3 ダイバーシティの推進

年度目標3

- ①多様な学生の支援
- ②外国人留学生の増加を目指した取組
- ③ワークライフバランスの推進

達成状況3

自己評価 3

- ・ 障がい学生支援センターによる新たな取組（学生サポーターの参加）
保健管理センターによるカウンセリングの強化
- ・ 外国人留学生の定員化（人文社会科学部）
国際インターンシッププロジェクト支援
- ・ WLBで解決すべき問題は、時間のマネジメント
→委員会・会議時間の削減・短縮（各部局）

障がい学生支援センター
Support Center for Students with Disabilities

乗をテ

アクセス

教職員の皆様へ



障がい学生に対して どう教育・支援したらいいだろう？

お気軽に「障がい学生支援センター」へ お問い合わせ・お立ち寄りください!!



山形大学
Yamagata University

FD/SD 研修会

[illegible]

山形大学
Yamagata University

達成状況 障がい学生支援センター

発達障がい 学生就職活 動準備講座



▲ 講師による説明の様子



▲ 仕事力チェック1



▲ 仕事力チェック2



▲ 講師からアドバイスを
受ける受講生

視覚障がい 学生支援 技術講習



▲ 講座の様子



▲ アイマスクでの歩行体験・ガイド
ヘルプの仕方の実習



▲ テキストデータ化実習の様子

バリアフリー 環境改善



▲ Before



▲ After

達成状況 キャンパス単位での取組(WLB)



30年度事業計画への反映

- ◆財源に関する意識改革：教育コストは大学運営資金、研究と社会連携事業のコストは外部資金と受益者負担で賄う方針を徹底
- ◆経費節減で効果をあげた取組（GP）は、キャンパス全体で展開
- ◆国際センター、教育開発支援センター、各学部等で個別に実施されている国際化事業・社会連携事業を統合したエクステンションサービスの新体制を検討中
- ◆29年度協定校との交流事業をさくらサイエンスプランに申請
- ◆事務組織の再編成
- ◆キャンパスの各種施設・設備の有効利用を推進するため、キャンパスのポータルサイトを整備